

伊勢湾漁場環境浄化型推進事業 アサリ資源管理型漁業推進事業

水野知己・程川和宏・日向野純也¹⁾・井上誠章¹⁾・竹内泰介²⁾

¹⁾ (独) 水産総合研究センター養殖研究所・²⁾ 三重県農水商工部水産資源室

目的

伊勢湾のアサリ漁場の生態系管理を促進し、アサリ資源の持続的利用をはかるため、漁業者の資源管理活動を支援し、漁業者向けのアサリの資源管理マニュアルを作成する。

経過

① アサリ資源動向の把握

伊勢湾全域に設定した18地点において、毎月アサリ浮遊幼生を採集した。さらに、年3回、桑名地区、松阪地区、明和地区、伊勢地区の主要漁場におけるアサリ稚貝、成貝の生息状況を把握した。

伊勢湾では、桑名地区と鈴鹿地区を除き、近年、アサリ資源の少ない状況が続いてきた。そのような中で20年秋季には稚貝の大量発生が見られ、21年夏季にはこの稚貝が殻長5mm程度に成長し、雲出川・櫛田川・宮川河口域において5千個体/m²を超える密度で分布した。ところが、21年10月初旬の台風の影響による攪乱でその大部分が消失した。漁獲サイズの成貝もこの風波で大きく減少し22年冬季まで松阪・伊勢地区の一人あたり漁獲量は5~10kg/日と台風前の3割未満に激減した。

21年11月には、親貝資源の少ない中、高密度のアサリ浮遊幼生の発生がみられ(付図1)、22年夏季には、松阪から伊勢にかけての広い範囲で殻長10mm前後の稚貝が数千個体/m²の密度で確認され、22年3月においても15mm前後の稚貝が数百~千個/m²程度生残しており、卓越年給群を形成している(付図2)。この発生群の本格的な漁獲加入は、23年度秋季となる見込みである。

② 二枚貝資源管理活動の推進

津・伊勢農林水産環境商工事務所水産室および漁業者と連携し、桑名地区ではハマグリ分布調査および木曾三川シジミ協議会によるシジミ分布調査、鈴鹿地区では二枚貝垂下飼育試験、明和地区ではアサリ資源量調査とノリ網敷設による稚貝着底促進およびヒトデ・ツメタガイ駆除、伊勢地区ではアサリ資源量調査とノリ網敷設による稚貝着底促進および耕耘による底質改善の助言と支援を行った。

③ 資源管理マニュアル作成と普及

前年度に刊行した「アサリ資源管理マニュアル」を用いて、三重県アサリ協議会や伊勢市アサリ協議会、各漁業共同組合にて、アサリ等の二枚貝の資源管理研修を実

施した。

さらに、マニュアル改訂版である「アサリ資源管理マニュアル改訂版」を刊行した(マニュアルは三重県水産研究所HPからダウンロード可能)。

なお、研修会の実施状況は以下のとおりである。

◇4月9日/赤須賀漁協(桑名)、◇5月24日/伊勢湾漁協(明和)、◇6月22日/木曾岬漁協(木曾岬)、◇8月10日/松阪漁協(松阪)、◇9月18日/第6回全国シジミシンポジウム(桑名)、◇9月24日/技術士全国大会(四日市)、◇11月9日/三重県アサリ協議会(松阪)、◇12月6日/水産海洋学会地域研究集会(桑名)、◇12月14日/伊勢湾漁協(伊勢)、◇1月14日/木曾三川シジミ協議会(桑名)

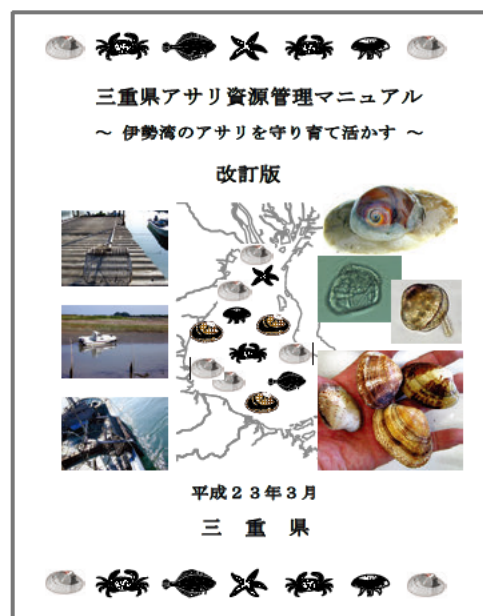
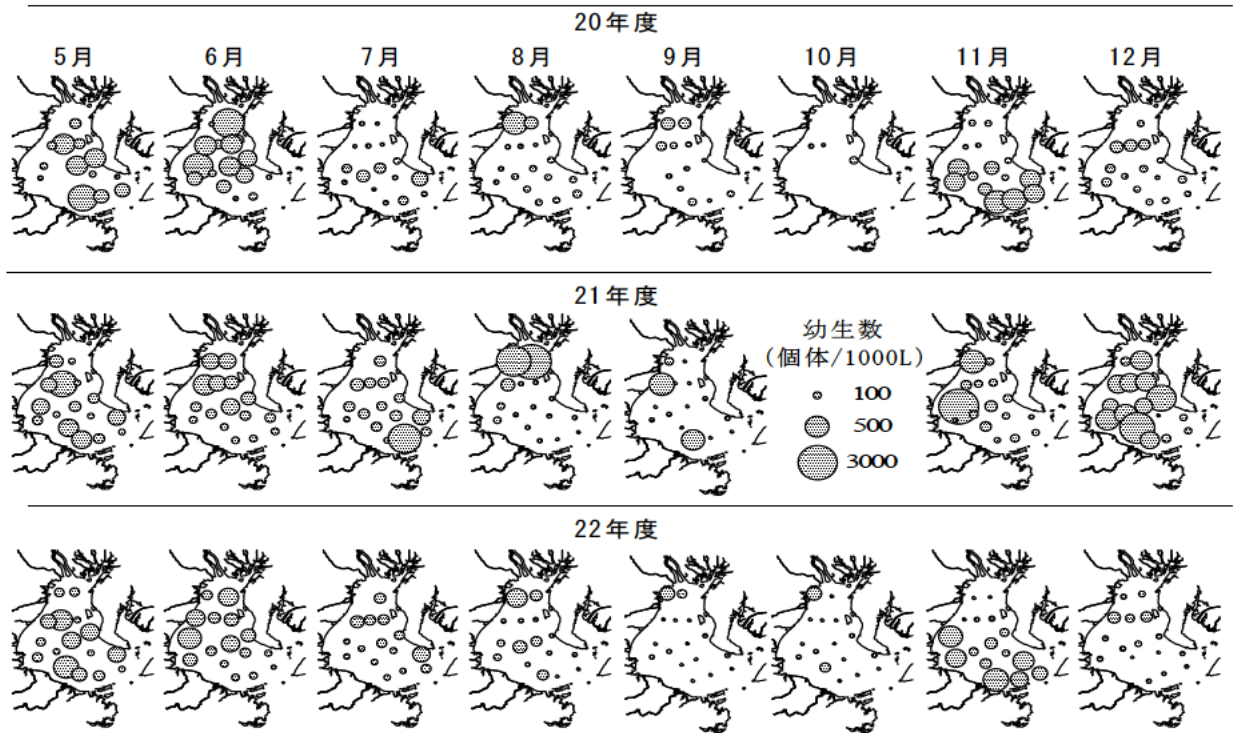


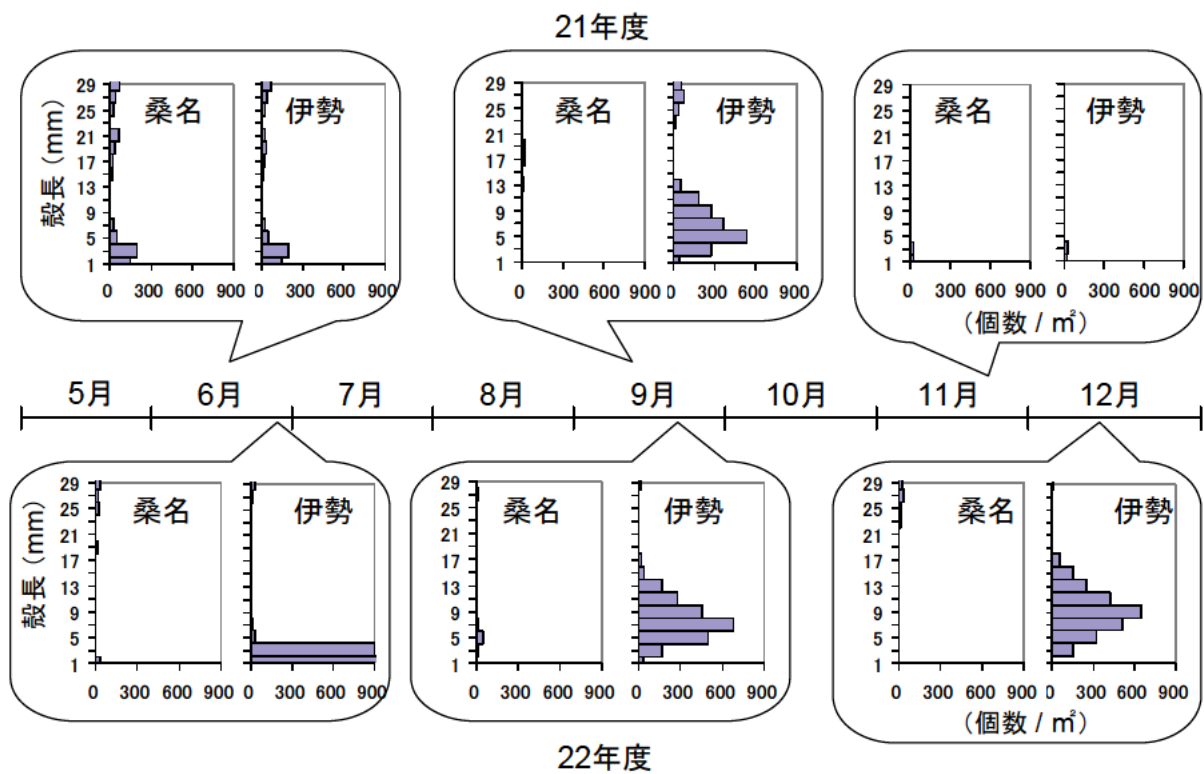
図1. 三重県アサリ資源管理マニュアル
～改訂版～, 平成23年3月, 三重県

参考文献

- ・平成23年3月, 三重県, 三重県アサリ資源管理マニュアル改訂版.
- ・平成23年3月, 現場リポート: 伊勢湾でのアサリ稚貝の大量発生とその中間育成の試み, 三重県水産研究所, 水産研究所だより.



付図1. 伊勢湾のアサリの浮遊幼生分布



付図2. 桑名地先（伊勢湾北部）と伊勢地先（伊勢湾南部）のアサリの殻長組成の推移